

生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信

鉄西・幌北・北・新琴似 地区版



2019年



第6号

幌北地区で「高齢者向けスマホ教室」を開催しました！



3月11日（月）に幌北地区の「高齢者向けスマホ教室」を開催し、約30名の方にご参加いただくことができました！この教室は、平成30年度に2回開催した生活支援推進連絡会（小連絡会）での意見交換の結果を受け、幌北地区福祉のまち推進センターのご協力のもと、高齢者の身近なつどいの場としての役割と、学生ボランティアに参加していただくことで若者との交流の機会にも繋がることを目的に行いました。



当日は、ドコモショップ札幌店より講師を含めた3名の方にご協力をいただき、1人1台らくらくスマホを実際に操作しながら学んでいただきました。また、学生のボランティアとして、ネオロス幌北と北大のボランティア相談室より5名の学生さんにお手伝いいただくことができました。学生に教えてもらう方、お隣同士で聞き合う方など、皆さん楽しそうに真剣に取り組まれておりました。アンケートからは、「手に持ってみて初めて使いやすさを実感しました」「高齢者で心配していたが、ある程度理解

ができました」「是非多くの方々にPRしてほしい」等のご意見・ご感想をいただきました。スマホ教室の開催などスマホを用いたつどいの場の内容や形態について、次年度以降引き続き地域の皆さまと一緒に検討していきたいと考えております。

ご協力をいただきました幌北地区福祉のまち推進センター、講師をしていただいたドコモショップ札幌店、ネオロス幌北、北大のボランティア相談室、まちづくりセンターをはじめとする関係機関、そして当日参加していただいた皆さま、ありがとうございました！



新琴似地区で

生活支援推進連絡会(協議体)を開催しました！

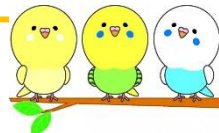


3月25日に新琴似地区で生活支援推進連絡会を開催させていただきました。当日は、新琴似連合町内会、新琴似地区社会福祉協議会、福祉のまち推進センター、新琴似地区民生委員児童委員協議会、北区第1地域包括支援センター、介護予防センター新琴似、北区保健福祉課、新琴似まちづくりセンターよりご出席をいただきました。事業説明・活動報告の後、「新琴似地区で必要とされる生活支援活動とその進め方について」の意見交換を実施しました。

意見交換では、「実際の地域住民が必要としている生活支援ニーズの把握」「お互いに理解し合いながらの生活支援活動をどのようにしていくのか」「新琴似地区における生活支援活動の具体的な体制作りについて」など様々なご意見が挙げられました。次年度以降は、明らかとなった必要な取組みの具体的な実施に向け、検討を進めていきたいと考えております。お忙しい中、ご出席いただいた地域活動者や関係機関の皆様、本当にありがとうございました！



社会資源の把握



生活支援コーディネーターの活動の一つに、“社会資源の把握”があります。その一環として、『ペットショップ小泉』さんへ取材にお伺いさせていただきました。こちらのペットショップの特徴の一つとして、犬の美容室の無料送迎やペット用品無料配達サービスが行われています。(※送迎・配達に関しては利用制限あり。詳細については、ホームページをご覧ください)

その他、各生活支援コーディネーターが把握している高齢者の日常生活に役立つ社会資源を、札幌市北区社会福祉協議会ホームページに「社会資源一覧」として掲載しております。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご覧ください。



高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、地域における生活支援等の体制整備に向けた調整役として、生活支援コーディネーターを配置しています。

地域の皆様とともに身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりを進めます。

札幌市北区社会福祉協議会
札幌市北区24条西6丁目
北区役所1階

TEL 011-757-2482
生活支援コーディネーター

岡田

